

第3回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 ワークショップ 概要書

ワークショップ名	真剣しゃべり場！学生×先生 -今日の相互理解から明日の活動へ-
開催の目的	<p>ジェネラリストに興味を持っている全国の学生は、今後のプライマリ・ケアを中心とした今後の動向に強い関心を抱く一方で、様々な疑問・不安をいただいている。</p> <p>学生・研修医部会の在り方をはじめ、将来のキャリアとして進むであろう家庭医・総合診療医における疑問点、プライマリ・ケア領域における医学教育や、地域における医師不足や医療崩壊などの諸問題について、学生と先生がお互いの意見を話し合う機会を設けるため、この企画を提案した。</p>
対象	<p>■診療所医師 ■病院勤務医 ■初期研修医 ■後期研修医</p> <p>■学生</p> <p>■その他（学生・研修医部会の活動に関心のある方）</p>
定員	定員：30名 ※机の配置は全て島組（6人/1島）
講師名	<p>司会 香田 将英（自治医科大学医学部）</p> <p>岡崎 悠治（熊本大学医学部医学科）</p> <p>日下 伸明（埼玉医科大学医学部）</p>
概要	<p>家庭医・総合診療医に関するアンケートを事前に集計し、その結果に準じたテーマを設定し、参加者の中の学生・研修医部会のメンバーが参加者とともにグループに分かれて、意見交換する。最後に、各問題点に各グループで具体的な見解を発表する。</p>